

地域包括支援センター支援業務〔予算額 574,550千円〕

福祉部ふくし相談課
地域支えあい係(23-6986)

財源内訳 国庫支出金 221,202千円、県支出金 110,600千円、繰入金 132,148千円、一般財源 110,600千円

地域包括支援センターは、岡崎市が設置している高齢者等の総合相談窓口です。

高齢者の介護サービスだけでなく福祉サービス、地域活動への参加など多様な機関と連携して、ご本人、ご家族の相談に応じています。

また、地域の見守りや支えあい活動など、様々な人や団体、事業者、法人等の活動をつなぐことで、住みやすいまちづくりを目指しています。

お悩み・お困りごとの相談窓口

高齢者やその家族、地域で気になる方の健康・福祉・介護などのお悩みやお困りごとの相談に対応します。



最近足腰が弱って、身の回りのことができなくなってきました…

必要な方には介護保険制度やサービスの利用の支援を行います。



介護予防活動でずっと元気に！

健康維持や介護予防のための教室や通いの場を案内します。



岡崎ごまんぞく体操を知っていますか？

自分らしい生活を送るには日常で必要な筋力を鍛えることが大切です。岡崎市では椅子とおもりを使った筋力体操を推進しています。



介護者への支援

市内
20 か所

介護教室や家族の会の開催

家庭における介護方法等を学んでいただくための介護教室や、介護の大変さや悩みを介護者同士で語り合うことができるように高齢者を支える家族の会を開催しています。



権利を守る

お金の管理が不安な方へ

財産管理や日常の契約が不安な方へ成年後見制度の利用を支援します。

消費者被害

被害に遭われた場合は警察や消費生活センターなどと協力して対応します。

高齢者虐待

虐待が疑われるときは、ご連絡ください。第三者が介入することで、虐待の深刻化を防ぐことができます。

認知症と向き合う・支え合う

認知症の方やその家族が暮らしやすい地域を目指して活動しています。

- 高齢者が道に迷ったけど…
- 認知症になるとどうなる？



認知症に関する相談やサポーター養成講座など様々な取り組みをしています。

ふじいろサポートチーム（認知症初期集中支援チーム）

専門家チームが適切な医療機関受診や介護サービスにつなぐなど、早期対応の支援をしています。

暮らしを支える地域

地域の様々な関係機関と連携しながら、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるように話しています。

協議体の開催

総代や民生委員等の地域役員の方々と一緒に、居場所づくりや地域での支え合い活動の推進等について検討しています。



高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務〔予算額 33,205千円〕 介護予防事業対象者把握業務〔予算額 7,935千円〕 ※介護保険特別会計		福祉部長寿課 予防係(23-6837)
財源内訳	諸収入 33,205千円 【介護保険特別会計】保険料 714千円、国庫支出金 1,493千円、支払基金交付金 1,341千円、県支出金 621千円、繰入金 798千円、諸収入 2,968千円	

拡充

高齢者の健康寿命の延伸に向け、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。
 令和5年度から開始した本事業は令和7年度より新たなハイリスクアプローチ（薬剤適正化支援事業）を開始します。



【取組内容】

企画・調整

- ・医療、健診、介護データの分析による健康課題の抽出
- ・医師会、歯科医師会、薬剤師会等の外部機関との協議
- ・庁内各課との調整、連携
- ・広域連合との事業調整

ハイリスクアプローチ

- ・「後期高齢者の質問票」による健康状態不明者の把握、介護予防事業等への参加勧奨
- ・糖尿病性腎症・口腔機能低下症の重症化予防
- ・薬剤適正化に向けた服薬指導

ポピュレーションアプローチ

- ・ごまんぞく体操等の通いの場における普及啓発、健康相談
- ・講演会（薬剤適正化、口腔フレイル等）
- ・介護予防教室、栄養教室、出前講座等
- ・健診受診勧奨



予防接種業務〔予算額 2,407,892千円〕

保健部ワクチン接種推進室
予防接種係(23-6714)

財源内訳 使用料及び手数料 18千円、国庫支出金 112,244千円、県支出金 10,217千円、諸収入 427,257千円、一般財源 1,858,156千円

新規

带状疱疹予防接種(定期接種)

80歳までに3人に1人が発症し、強い痛みのほか、神経症状や後遺症などを伴うと言われる带状疱疹の予防を目的に、带状疱疹予防接種の定期接種を実施します。

■対象者：

- ①年度内に65歳となるかた
- ②接種日に60歳以上65歳未満のかたで、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり日常生活がほとんど不可能なかた
- ③令和7年度から令和11年度までの経過措置として、その年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となるかた

※100歳以上のかたは令和7年度に限り全員対象

※過去に一度でも带状疱疹ワクチンの助成を受けたことがあるかたのうち、接種が完了しているかたは対象外

■課税世帯のかたの接種費用：

水痘生ワクチン 3,500円×1回、不活化ワクチン 9,000円×2回

■非課税世帯のかたの接種費用：

水痘生ワクチン 1,700円×1回、不活化ワクチン 4,500円×2回

■生活保護世帯のかたの接種費用：

無料

■接種方法：

接種券を対象者に送付しますので、事前に協力医療機関に予約の上、接種券を持参し協力医療機関で接種

■開始時期：市政日より、市HP等で案内

■主な予算：带状疱疹予防接種委託料 165,156千円

拡充

子宮頸がん予防接種

子宮頸がん(HPV)予防接種の接種期間が条件付きで延長されます。

■対象者：

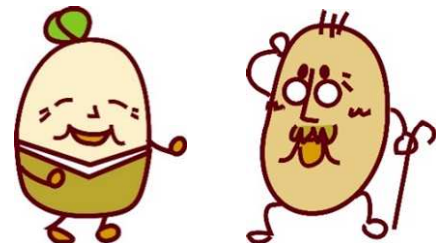
平成9年4月2日～平成21年4月1日生の女性で、令和4年4月から令和7年3月までに1回でもHPVワクチンを接種されたかた

■接種期間：

令和7年4月1日～令和8年3月31日

■主な予算：

子宮頸がん予防接種委託料 83,396千円



地域医療体制の充実〔予算額 2,537,348千円〕

岡崎市民病院総務課
経理係(66-7015)

財源内訳 一般会計負担金 108,590千円、企業債 798,300千円、国庫補助金 6,771千円、自己財源 1,623,687千円

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院として医療水準の確保及び多様化高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図るほか、施設内の改修工事や高度医療機器の整備を行います。

施設改修や設備の更新

〔予算額 922,035 千円〕 以下は主な改修工事等となります。

★病棟外壁タイルの落下による事故を防止するため、病棟外壁改修工事を行います。

★令和6年度に引き続き、エレベーターや照明設備など、施設設備の更新工事を行います。

医療機器の整備・充実

〔予算額 1,615,313 千円〕 以下は購入予定の主な機器となります。

高度な医療を提供できる病院として医療機器を整備することにより、市民の信頼に添えていきます。

☆手術支援ロボット

最先端の手術支援ロボットで、傷口が小さく患者さんの身体的負担軽減によって、手術後の回復期間が短くなり、社会復帰までの時間が早くなります。また、アームの関節可動性が大きいことによる操作性の高さ、拡大画像による優れた手術視野などによって高精度に精緻な手術が可能となり、医師の負担軽減も図られます。当該機器の2台目を導入し体制を整えることによって、より多くの症例、手術を希望される方への対応が可能となります。



☆生化学免疫検査 自動化システム

血清や尿を分析する生化学免疫検査を完全自動化する装置です。完全自動化することにより、人為的なミスを防ぎ、業務効率化を図ります。

